

2012
10/10

特別養護老人ホームほしのさと 加湿器12台を寄贈

徳山東ロータリークラブ

プロジェクトの概要

我が徳山東ロータリークラブの地域に総合病院、特別養護老人ホーム、障害者自立センター、心身障害児（者）、デイ・ケア、指定障害者支援施設、老人看護施設等々、通称“ふくしの里”があります。

この中で“特別養護老人ホームほしのさと”へ加湿器12台の贈呈を職業奉仕委員会と職場例会を兼ねて開催いたしました。

集団で生活する施設ではインフルエンザの流行や乾燥肌の症状等で入所者の生命を脅かしかねません。その対策として加湿器を各病室へ設置することは、病気の予防はもちろん、入所者の方々の生活の質を向上させ、また職員の方々の負担軽減につながります。（社会奉仕委員会）



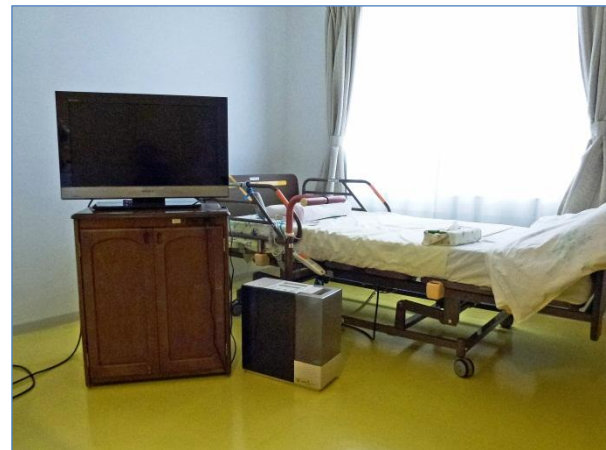
職場例会



贈呈式



入所者の皆さんと



各病室へ設置

感染症と肌の乾燥の予防に
●徳山東R.C.●
ほしのさとに加湿器贈る

下松市の徳山東ロータリークラブ（森田会長、五十人は十、生野屋の特別養護老人ホーム・ほしのさと）が本島樹施設長に加湿器十二台（計約十八万円相当）を贈った。同クラブが国際ロータリー第210地区の補助金で贈ったもの。加湿器は乾燥しやすくなり、健康な暮らしの感染症の予防や肌の乾燥の予防に有効だが、同施設では不足していた。贈呈式はこの日、同クラブの職場例会が開かれ、たふくしの里地域交流センターであり、森田会長は「これから日々寒さを述べて」

加湿器と自筆を持つ森田会長（左）と本島施設長